

# 夏のオフィスの軽装☆革命

快適さ  
+  
省エネ効果

夏は、家庭でもオフィスでも、ついつい冷房に頼りがち。でも、ひんやりするくらい冷房を効かせ、上着を着ているのでは、エネルギーの無駄づかいです。地球温暖化が問題となっている今、一人一人の省エネ実践が大切です。今年はオフィスでも一歩進んだ省エネを始めてみませんか？

夏はエネルギーの消費量がピークを迎える季節です。一人一人のちよつとした心がけが、大きな省エネにつながります。

## 冷房は室温28℃を目安に

暑いと頼りがちなエアコン。28℃では少し暑いと感じる人もいます。しよう。

しかし、上着を脱いで、ネクタイを外せば、体感温度は約2℃下がると言われています。暑いと感じる人に合わせてエアコンの設定温度を低くすると、その分、消費電力量が増えるうえ、寒いと感じる人は1枚はおらなくてはなりません。

また、オフィスの室温を26℃から28℃にすると、冷房の消費電力量のうち、約17%の省エネ効果があるとされています。

## 半数以上の企業が軽装を奨励

最近では、企業や行政のオフィスでも、快適に働けるよう、軽装を奨励しているところが増えており、同時に、冷房の設定温度を調整するなど、夏の省エネを進めています。その結果、3年間で、電力やガスの消費量が約20%も減少したところがあります。

財団法人省エネルギーセンターが企業や自治体を対象に行ったアンケート調査によると、夏の軽装について、「奨励している」または「奨励する予定である」と答えた企業は、51・3%で、半数を超えています。

夏の軽装を奨励している企業のうち、「ノーネクタイ」を奨励しているのは60・8%。「ノーネクタイ」は、かなり浸透しているようです。

また、「半そでのワイシャツやカジュアルスタイルもOK」という企業も目立つようになりました。

## ノーネクタイは失礼？

軽装を奨励していない企業では、軽装することによって「顧客からの評価が下がる」「社内の秩序・風紀の乱れ」といったことを心配しているようです。

しかし、すでに軽装を進めている企業では、軽装によって、むしろ「社員の士気や業務効率が上がった」「顧客の評価が良くなった」と、プラスの影響を挙げています。

企業の省エネ行動の一環として、夏の軽装を奨励する企業が多くなっており、「ノーネクタイは失礼」という意識よりも、むしろ、「環境にやさしい取り組みを実践している」ということで、外部からもプラスの評価を得ているのかもしれない。

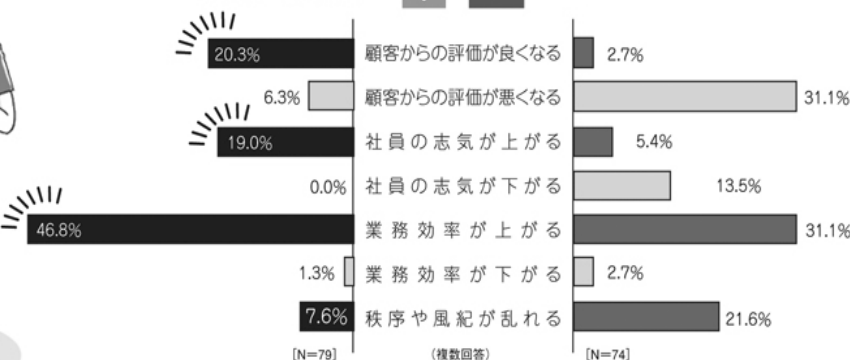
## 今年から軽装！

6月から国の行政機関では、一斉に軽装を行っています。

昨年までは、7月から軽装を行っていました。梅雨の季節も軽装の方が過ごしやすそうです。

働く人も気持ちよく、地球にもやさしい、夏のオフィスの軽装☆革命。この夏、皆さんのオフィスでも始めてみませんか。

軽装化を奨励している企業 軽装化を奨励していない企業  
どんな影響がありましたか？ どんな影響があると思いますか？



(財)省エネルギーセンター調査(平成16年)